

祝辞

本草薬膳学院
講師 青木 早苗

この度はご卒業
おめでとございます。



薬膳を学ぼうと本草薬膳学院の扉を叩き、期待と希望を胸に、学び始めた薬膳の勉強。中国医学の初めて聞く難解な言葉・概念に戸惑いながら、一生懸命勉強したことでしょう。毎日の多忙な生活の中で、卒業試験の勉強時間を捻出する事は本当に至難の技であった事でしょう。それを乗り越えてこの日、晴れやかな気持ちで本日をを迎えられたと思います。

“知識は力”という言葉があります。皆さんは中医学に出会い、薬膳の知識を得ました。自分の家族、友人の顔色を見て、中医学の知識で健康状態を判断し、薬膳の知識で健康に導いてあげる力を学び得たのです。未病を治す食医、台所のお医者様として自分のまわりの人たちを、健康で幸せにする手助けが出来るのです。

しかし中医学は四千年の歴史がある学問で、知識をより深く得るにはまだ学び続けていかなければなりません。これからも、薬膳の楽しさ、素晴らしさを一緒に学んでいきましょう。

薬膳に精進して、家庭や職場で、健康で幸せな毎日を送って下さいませよう、皆様の益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

本日は本当におめでとうございます。

2013年春期卒業生名簿 (50音順・敬称略)

17期平日コース 石井直子 石田康恵 岡部由紀子 加藤麻理 金丸有輝子 久保田円 小林記衣 酒向真由美 関根亜希子 高岸由紀 高森真理子 多根弘子 松井菜美子 和田安希子

17期土日コース イヴォンヌチャング 鈴木純子 瀬田早苗 中山むつみ 柳樂素子 名久井知子 福田由里 前田佳織 八島玲奈

通信教育コース 石田久美 犬塚沙織 大下浦加奈 大坪律子 小倉聡 小倉孝子 加藤昌美 坂田聡子 高橋史江 辻本由美 津村尚美 仲村令子 余慶尚子 吉田史子 吉田揚子

家庭薬膳コース 小谷野喜子

総計 39名



～ 中医学の森 卒業生の皆さんへ ～

本草薬膳学院 講師 平尾 安基子

本日はご卒業おめでとうございます。

仕事や家事や育児にお忙しい中、勉強を続けることはとても大変なことだったと思います。ご自身のがんばりはもとより、ご家族をはじめ、職場やクラスメートの協力があって、ご卒業を迎えることができたのではないのでしょうか？

実は私も2007年から2009年まで本草薬膳学院の講師をしながら、大学の通信過程に在籍していましたので、皆さんのご苦勞がわかります。中医学を教える講師として、知識の不足を痛感し、現代の医学知識とどのような繋がりがあるのかを知りたくなくて、解剖学や心理学について学びましたが、知れば知るほど、勉強には終りが無いのだなということを感じました。

ところで、現代西洋医学が1本の木を丹念に調べるようなものだとすると、中医学は、広くて深い森をながめるようなものだと感じています。

基礎コースでは現代西洋医学とは違う中医学独自の考え方を皆さんに説明してきました。最初の頃は、どこを歩いているのかもわからない森の中は不安だだと思いますが、探検するうちに新しい知識が増えていく喜びも味わっていただけたと思います。

そして症例分析もまた、森を探検するのに似ています。ひとつの症状は1本の木のようなものです。まず1本ずつ何の木なのか教科書やノートを調べては考え、そして全体をながめた時に何の森になるのか、それが証として導き出されるように思います。

「木を見て森を見ず」という言葉があります。まず、1本1本の木が何の木なのかを学ばなければ、何の森なのかはわかりません。しかし、1本の木にこだわり過ぎて、思い込んでしまうと森の中で迷子になってしまいます。森全体を見渡すには幅広く、深い知識が必要なのです。

劉先生にはきっと深くて大きな森が見えていることでしょう。残念ながら私にはまだ森の一部しか見えていません。皆さんにはどんな森が見えていますか？

これからも中医学の森を歩く時、まだまだ不安に思うことや迷子になることはたくさんあると思います。そんな時は、大先輩や多くの仲間と一緒に歩いている事を思い出してください。そして迷子になった時は、別の角度から森をながめるチャンスなのです。

すでに皆さんは中医学の森のとりこになっているのではないのでしょうか？これからは薬膳の仲間として大きな森が見えることを楽しみに共に歩いていきましょう。

最後にもう一度、
皆さん、ご卒業おめでとうございます！

